

- ・平成29年10月19日に長野県砂防ボランティア南信支部の会員20名が、浅間山火山噴火緊急減災対策事業について、現地研修に見えられました。
 - ・研修テーマは、「浅間山火山噴火緊急減災対策事業」と「佐久建設事務所管内砂防事業」の研修としています。
- 浅間山直轄火山砂防事業の現場研修場所は、群馬県側の濁沢第二砂防堰堤（基本対策施設）と長野県側の濁川砂防堰堤（暫定緊急対策施設）の2箇所、当日は雨でしたが、熱心に現場を視察していただきました。



群馬県側：濁沢第二砂防堰堤工事現場
（基本対策施設）



第二砂防堰堤：ICT施工の状況を見学

研修感想：長野県砂防ボランティア南信支部の皆様から
○火山砂防の言葉は聞いたことはありましたが、実際に説明をお聞きし現場を見学すると改めて日本の技術の高さを感じ世界の火山砂防をリードする部門を実感しました。
今でもスマトラ等で起きている火山噴火、この対策等にも世界的に尚いっそう活躍されることをお祈りします。



長野県側：濁川砂防堰堤（暫定緊急対策施設）



長野県砂防ボランティア南信支部の皆様

研修感想：長野県砂防ボランティア南信支部の皆様から

○砂防ボランティアの南信支部では会員のスキルアップのため砂防事業の現場研修に取り組んでおります。
平成26年9月26日長野県と岐阜県の境の御嶽山噴火で多くの人命が失われました。
ボランティアとして研鑽を積みたいと貴所砂防事業箇所を研修できましたのは、今後の我々の活動に大いに役立たせていただけるものと確信しています。

○15年ほど前に、実際に火山対策砂防工事を担当した者にとって、直轄砂防の現場は全く別の感じがしました。正にいつ起こるのか判らない浅間山の麓でそれこそ緊急に整備しなくてはいけない、使命感を発揮され 事業を推進されていることに敬意を表します。

○ICT施工もさることながら所期の目的の早期発現のために、現地材を活用され、ソイルセメントを製造し、施工していることに、技術者の一人として誇りを共有できました。

○ブロック積堰堤工事の現場を見学しましたが、パーツをしっかりと造り安定性・施工性から大きさを決められたことよくわかりました。

今後とも技術の研鑽に励まれ、砂防工事の推進を祈念しております。